《学校・家庭・地域をつなぐ「学校だより」》 **令和８年度10月号**【丹波篠山市立西紀小学校】

和輪話 にしきのわ

～地域が育て，地域が育つ学校～

西紀小学校
〒669-2716
兵庫県丹波篠山市乗竹650
TEL：079-593-0024
FAX：079-593-0249
Email：el-nishiki@school.sasayama.jp
（文責：藤原典英）

相手がいるから，勝負が出来る～新庄監督の一礼から～

十月に入り，朝晩の空気が一段と澄んでまいりました．学校に響く子どもたちの声も，秋の空に高く抜けていく様に感じます．保護者の皆様，地域の皆様の日頃からの温かい御支援に，心より感謝申し上げます．

10月12日（月），プロ野球パ・リーグで，日本シリーズ出場をかけたクライマックスシリーズのファーストステージ第3戦，西武対日本ハムが行われました．日本ハムが4対1で勝ち，2勝1敗で3年連続のファイナルステージ進出を決めた試合です．

勝利の直後，日本ハムの新庄剛志監督が，自チームのファンだけでなく，敗れた西武のファンや西口文也監督，西武の選手たちにも敬意を示されたと，複数の報道で紹介されていました．試合結果そのものよりも，勝負が決まった後のこのふるまいが，私の心に残りました．勝った瞬間，人の心は喜びでいっぱいになります．その只中で，敗れた相手へ目を向けることが出来る姿に，襟を正す思いがしました．

新庄監督がどの様な思いで敬意を示されたのか，その胸の内を私は知る由もありません．ですから，ここからは私自身の考えです．勝負というものは，相手が居て初めて成り立ちます．最初から「今日は負けでもいいや」と思って試合に臨む人は居ないでしょう．自分も相手も，その時に出せる力の全てを出してたたかいます．互いが本気でぶつかり合うからこそ，普段以上の力が引き出されるのです．相手が居るから，自分を更に高めることが出来るのだと考えています．

今回，本拠地でのクライマックスシリーズ開催に沸く西武が全力でたたかってくれたからこそ，あの三試合がありました．敗れた側もまた，同じ勝負を一緒につくり，互いの力を引き出し合った存在だったのだと思います．「礼」とは，その事実を体で表すことなのではないでしょうか．

昨年度の運動会の後，私は保護者向けの学校だよりに，本気で向き合えば向き合うほど，勝ち負けを越えて相手を共に成長するパートナーと受け止め，支え合うことが出来る，という趣旨のことを書きました．学校には，運動会に限らず，日々の遊びや学習の中にも勝ち負けのある場面が沢山あります．勝って嬉しい，負けて悔しい，どちらも大切な気持ちです．その上で，「礼」を形だけで教えるのではなく，相手への敬意が先にあって，その表れとして礼が出来る子どもたちに育ってほしいと考えています．私自身，長い教職人生の中で，「きちんと礼をしましょう」と言うばかりで，その根っこにある思いを，どれだけ言葉にして伝えてきただろうかと考えさせられました．

本校の今年度の学校教育目標は，「『在りたい自分』を創り，『在りたい未来』を拓く～自分の主人公として，共に学び・共に歩む～」です．この「共に」には，同じ仲間だけでなく，勝負の相手も含まれているのだと感じています．勝っても負けても，相手に敬意を払える自分で在りたいと願っています．子どもたち一人ひとりがその様な自分を創っていけるよう，学校と地域とで，共に根を養ってまいりたいと考えています．御理解と御協力を，何卒宜しくお願い致します．

◎修学旅行での学びより～広島で，平和と向き合って◎

10月15日（木）・16日（金）に，6年生が修学旅行に出かけました．行き先は，広島です．平和記念公園と宮島を訪問しました．

修学旅行とは文字通り，「学びを修める」ための旅行，学習の場です．同時に，「観光」の要素もあると考えています．観光とはその地へ赴き，名所を観たり美味しいものを食べて楽しむことだけではないと，私は考えています．それはあくまで手立ての一つであり，本質は「その地の光を観る」ことです．「観光」という言葉は，古代中国の『易経』にある「国の光を観る」という一節が語源とされています．そして何故「その地の光」を観るのかというと，次の二点に集約されるかと考えています．それは訪れた地の良さを知り・認め合うことで，結果として「わが町・おらが村」の良さを再確認するため，そして，「美しさ」という感覚・感性を自分の中に育てるため，です．

今回，平和記念公園では，原爆ドーム及び広島平和記念資料館を見学しました．授業や事前学習等を通して目にした資料と，実際に自分の目で見るものでは，受け取り方が全く違います．子どもたちは，展示されている資料を直に見て，そして「原爆ドーム」として81年間其処に存在し続けている姿に接し，どの様なことを感じたのでしょう（11月の学習発表会でその成果を提示してくれることを期待しています）．

また，被爆体験伝承講話では，6歳で被爆された梶矢文昭さんの体験談を通して，戦争が一瞬にして家族の当たり前の日常や尊い命を奪ってしまう悲惨さと，平和な未来を守るために当時の惨状を想像し語り継いでいく大切さについて深く学ぶ機会となりました．子どもたちには，被爆体験者ではなく，何故「伝承者」が語ってくれたのか，その意味をも考えてもらいたいと願っています．

伝承講話でも，その後の碑巡り（現地のガイドさんと共に巡りました）の中でも，原爆死没者慰霊碑に刻まれている「安らかに眠って下さい 過ちは 繰返しませぬから」という文言に触れられる場面がありました．「過ちはくりかえしませぬ」と言った時の主語は誰か，という重い問いを投げかけられました．これも大きな宿題だと，私自身は感じました．

宮島では，私も子どもたちも，千畳閣の大きさに驚き，厳島神社の歴史に感嘆しました．何百年前のものがそのままの姿で其処に在る（勿論，修繕や改築はあるでしょうが）．それを守り抜いてきた多くの人の志や思いが，子どもたちの心にどの様に届いたか，それは今後の学習で明らかになっていくと思います．私は，旅行中の子どもたちの真剣な眼差しが答えの一つだったと考えています．守り抜かれてきたものを前にしたあの眼差しこそが，「美しさ」を感じる心の芽なのではないでしょうか．






◎農産物品評会出品に関して◎

先月号でお伝えした市内の子どもたち対象の農産物品評会に関してです．

今回，校内で検討した結果，西紀小学校からは出品しないことに致します．本校の3年生が取り組んでいる黒枝豆の実習は，栽培や観察を通して，その成長をじっくり感じ取ることに重きをおいています．外部への出品や販売が目的ではないことを改めて確認した次第です．

御理解のほど，宜しくお願い致します．

△11月の行事予定▽

2日（月）	全校朝会	14日（土）	育友会資源回収※予備日15日
3日（火）	祝日・文化の日	16日（月）	人権朝会
5日（木）	下校見守り	17日（火）	5年生リモート社会科見学
6日（金）	令和9年度小学校入学説明会	18日（水）	第2回学校運営協議会
9日（月）	音楽朝会	19日（木）	クラブ活動
11日（水）	朝のお話会	23日（月）	祝日・勤労感謝の日
12日（木）	代表委員会	24日（火）	焼き芋大会※予備日25日
13日（金）	明るい一日の始まり運動（総務部） 発表参観日	26日（木）	3年生校外学習（大熊窯）
		27日（金）	代表委員会



◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい．
右の2次元コードを読み取っていただくと，フォームにつながります．
または，学校でお話をうかがうことも出来ます．いつでもお越しください．